

| | | | | | | | |
|---|--|--------------------|--|----------------|--------------------|-----------------------------|---------------|
| 科目ナンバリング | | U-LAS70 10001 SJ50 | | | | | |
| 授業科目名 <英訳> | ILASセミナー：イノベーションと経済社会 ILAS Seminar :Innovation and Economic Society | | | 担当者所属 職名・氏名 | 成長戦略本部 特定准教授 松行 輝昌 | | |
| 群 | 少人数群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | ゼミナール(対面授業科目) |
| 開講年度・ 開講期 | 2026・前期 | 受講定員 (1回生定員) | 20(15)人 | 配当学年 | 主として1回生 | 対象学生 | 全学向 |
| 曜時限 | 木5 | 教室 | 国際科学イノベーション棟 1階会議室1、5/21と5/28は、国際科学イノベーション棟 4階会議室4(本部構内) | | 使用言語 | 日本語 | |
| キーワード | イノベーション / 経済 / 企業 /アントレプレナーシップ | | | | | | |
| [授業の概要・目的] | | | | | | | |
| このゼミでは、技術経営、経済学、社会思想という枠にこだわらず、視野を広く取ってイノベーションに関する問題意識の発掘に努めます。 | | | | | | | |
| 社会の制度や組織の革新といった非技術的な革新も含む広義のイノベーションの概念や、その意義、あるいはイノベーションと経済・社会との関係、イノベーションを生み出す経済や社会の諸条件やアントレプレナーの役割についても考えを深めます。 | | | | | | | |
| イノベーションのあり方は国や地域によって大きく異なります。イノベーションを支える社会思想や制度はどのようなものなのでしょうか？あるいは、どのような人たちがイノベーションの担い手となっているのでしょうか？イノベーションに関する書物の輪読、および身近な対象に対する調査を通じ、イノベーションの概念を用いて現代社会を再考してみます。イノベーターの視点から見ることによって何が違ってくるのかについても考えてみたい。 | | | | | | | |
| [到達目標] | | | | | | | |
| 1. 「イノベーション」とはどのような概念なのか理解する。 2. イノベーションと経済・社会の連関について考えを深める。 3. イノベーターの視点から社会を見るとはどのようなことであるのか理解する。 | | | | | | | |
| [授業計画と内容] | | | | | | | |
| イノベーションに関連する書物を輪読する。必ずしも技術経営、経済学、社会思想という枠にこだわらず、イノベーションにかかわる書物を通じ、視野を広く取って問題意識の発掘に努める。 | | | | | | | |
| 下のような課題について、教科書を指定してそれぞれ4週程度の輪読をする予定である。担当箇所についての担当の参加者による報告のあと、参加者全体で、書物を基にした質疑応答を行う。 ・イノベーションの前提条件 ・イノベーションの担い手 ・イノベーションのエコシステム | | | | | | | |
| 本年度教科書として指定する書物を輪読する。なお、輪読の進行具合に応じて別途指定する教科書を追加する、もしくは簡易なフィールド調査を課すことがある。 | | | | | | | |
| なお、『現代の考察』はスタートアップの経営者が壁にぶつかったときによく読まれる書である。 | | | | | | | |
| 第1回 イントロダクション | | | | | | | |
| | | | | | | ILASセミナー：イノベーションと経済社会(2)へ続く | |

ILASセミナー：イノベーションと経済社会(2)

- 第2～4回 『小澤隆生 起業の地図 困難をいかに乗り越え、事業を成功させるのか』 輪読
第5～7回 『新版 ドラッカー・スクールで学んだ本当のマネジメント』 輪読
第8回 『新版 ドラッカー・スクールで学んだ本当のマネジメント』 著者藤田勝利氏との対話
第10～11回 『現代の考察』 輪読
第12回 『現代の考察』 著者執行草舟氏との対話
第13回 『現代の考察』 輪読
第14回 『現代の考察』 著者執行草舟氏との対話
第15回 振り返り

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点（50%）
8割以上の出席を求めます。
質問や討論など、授業への積極的な参加を求めます。

発表（50%）
輪読の際に担当部分の要約および感想・疑問点についての発表（各人3～4回）

【教科書】

北 康利 『小澤隆生 起業の地図 困難をいかに乗り越え、事業を成功させるのか』（日経BP, 2025）
ISBN:978-4296001903
藤田 勝利 『新版 ドラッカー・スクールで学んだ本当のマネジメント』（日経BP, 2021）ISBN:978-4296108831
執行 草舟 『現代の考察』（PHP研究所, 2019）ISBN:978-4569845302（この本は現在絶版なので配布する）

【参考書等】

（参考書）
日本交渉学会 『すべては交渉で決まる－交渉学入門』（弘文堂, 2026）ISBN:978-4355360725
別途プリントを配布することがある。

（関連URL）

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>（イノベーション関連のプログラム他）

【授業外学修（予習・復習）等】

各回の演習の前には、その回でカバーする書物のページ（事前に指定します）を全て読了の上、不明点や質問事項を明確にしておくこと。

【その他（オフィスアワー等）】

簡易なフィールド調査を課す場合、必要な交通費などは受講生負担となる。

オフィスアワーについては授業初日に説明する。

イノベーションや起業についての関連科目については以下を参照すること

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/venture/ims/>

以下が聴講可（無単位）

技術イノベーション事業化コース（実習）

ILASセミナー：イノベーションと経済社会(3)

[主要授業科目(学部・学科名)]